

電熱ウェアの異常発熱に注意しましょう！

モバイルバッテリーなどを用い、衣類に内蔵された電熱線を発熱させて温める電熱ウェアに関する相談が増えています。

事例を紹介します。

- ・ 電熱ベストを使用していたら首元が焦げて穴が開いた。そのせいで他の衣服にも穴が開いた。(50歳代・女性)
- ・ 電熱ベストを着用したところ、やけどをした。背中に10円玉ほどの大きさの水疱が3つできていた。(50歳代・男性)
- ・ 1週間前に通販で買った電熱ベストの電源がすぐに落ちて温かさが続かない。業者に交換を求めると電話したが繋がらない。(40歳代・女性)

国民生活センターで行った、市販されている電熱ウェア12銘柄の商品テストの結果によると、商品によって使用されている部品の構成や形状に違いはありましたが、発熱の仕組みに目立った差異はみられませんでした。しかし、断線した電線同士が不安定に接触した状態で通電したところ、接触部分の温度が200℃まで上昇することがありました。また、発熱体周囲の温度が高いと、発熱体の温度も高くなる傾向がみられました。

電熱ウェアは衣服に暖房機能を持たせた電気製品です。電熱ウェア内部の電線等に負荷をかけないなど、丁寧に扱い、異常を感じたらすぐに使用を中止しましょう。取扱説明書および本体の注意表示には、電線等に負荷をかけない、高温となる環境で使用しないなどの記載があります。よく読んで、理解してから使用し、製造元や販売元、型式や機能といった仕様が明示された商品を購入しましょう。

何らかのトラブルが生じた場合は、お住いの自治体の消費生活相談窓口にご相談ください(消費者ホットライン188)。

(参考:国民生活センターウェブサイト)

